

動作不良時のチェック方法

検出電極に測定物が触れていない状態で行って下さい。

結線の確認

電源を切った状態で結線の確認を行って下さい。

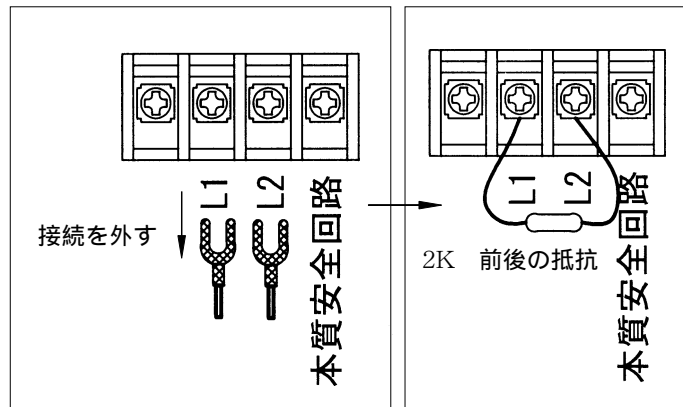
(アンプ部 - 電源部間の接続(極性)、入力電源の確認等)

電源部単体の確認

端子部の L 1、L 2 の接続をはずし、所定の電源を投入した状態で L 1、L 2 間に 2 k 前後の抵抗を端子部(L 1、L 2)に接続して出力用リレーの動作状況を確認して下さい。

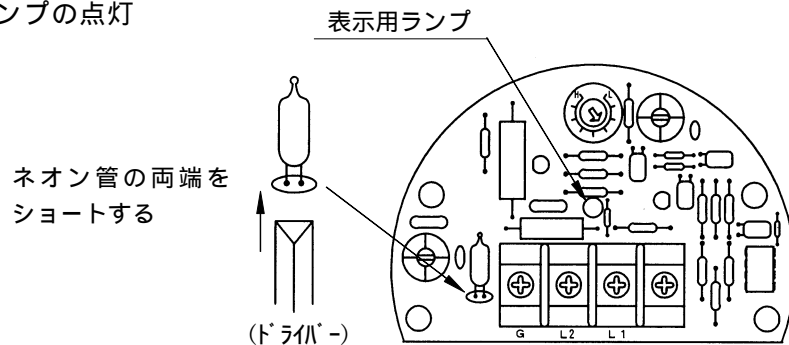
リレーが動作	正常
リレーが動作せず	不良(電源部を交換して下さい)

リレー動作時	
端子台の a - c 間	導通
端子台の b - c 間	非導通



アンプ部単体の確認

所定の電源を投入した状態で、ネオン管の両端を短絡し、表示ランプの点灯の有無を確認して下さい。



表示ランプが点灯	正常
表示ランプが消灯	不良

(アンプ部を交換して下さい)

電極単体の確認

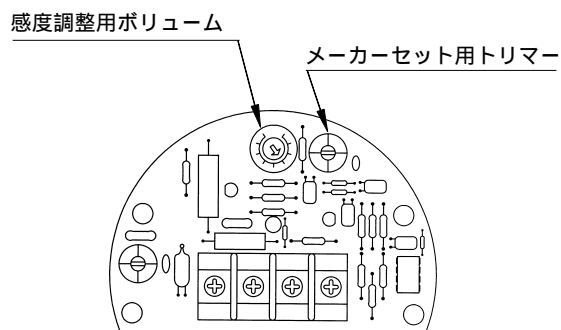
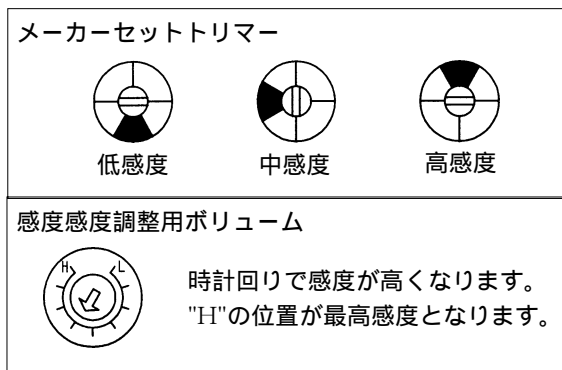
電源を切り、アンプ部をケースから外して下さい。

検出電極(ケース中心部の六角支柱(対辺13))と接地電極(ケース本体)をテスターの抵抗レンジにより導通の有無を確認して下さい。

絶縁状態	正常
導通状態	不良

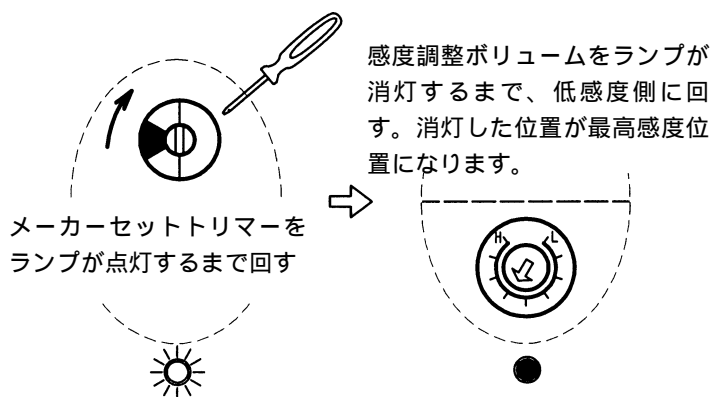
(電極取替え又は、オーバーホールして下さい)

アンプ部の感度調整が出来ていない場合



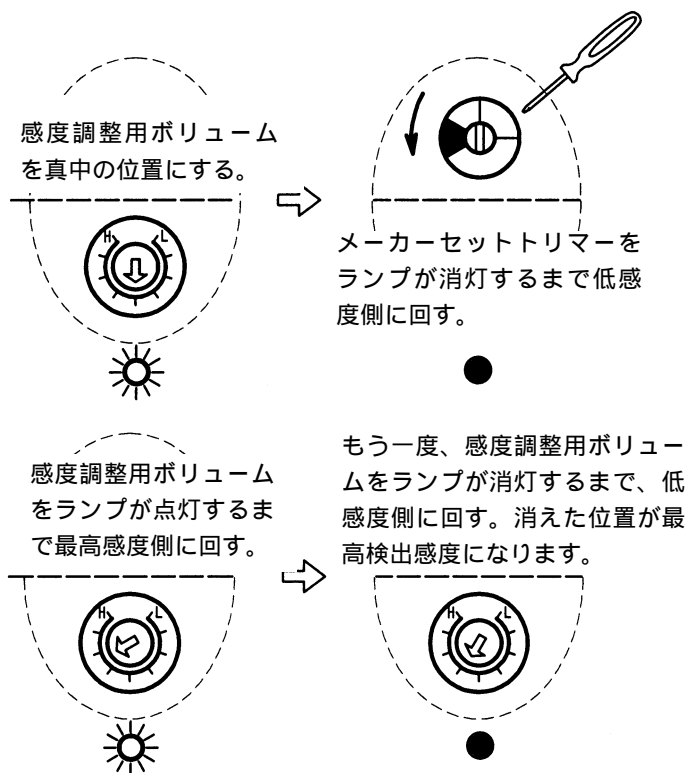
- 感度調整用ボリュームをMAX
"H"の位置まで回しても表示ランプが点灯しない場合、メーカーセットトリマーで感度を上げます。

点灯しない。



- 感度調整用ボリュームをMIN
"L"の位置まで回しても表示ランプが消灯しない場合、メーカーセットトリマーで感度を下げます。

消灯しない。



ランプ点灯、消灯が確認される
ランプ点灯、消灯が確認されなかった

正常
不良 a.アンプ部と電極の仕様が合っていない
b.電極の取付け状態がふさわしくない

メーカーに連絡して下さい。